

COVID-19（新型コロナウイルス感染症） による影響について

2020年5月15日

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）による業績影響

業務純益減少、与信関係費用増加等のP/L影響に加え、貸出増加によって資本運営にも影響

(億円)		19年度実績		20年度予想			
			COVID-19影響	20年2月時点	見直し後	COVID-19影響	ポイント
P/L	連結業務純益	10,850	▲500	11,400	9,700	▲1,700	資産運用ビジネス下振れ等、マーケティング部門における対顧取引の影響等
	与信関係費用	▲1,706	▲400	▲1,900	▲4,500	▲2,600	国内外のマクロ環境、個社状況等を加味し、クレジットコスト増
	株式等損益	805	▲230	—	—	—	—
	特別損益	▲434	▲400	—	—	—	—
	親会社株主純利益	7,039	▲1,100	7,100	4,000	▲3,100	
資本運営	リスクアセット (CET1比率の増減)	86.4兆円	+1兆円 (▲0.1%)	87兆円	92兆円	累計 +5兆円 (▲0.5%)	国内外のお客さまに対する貸金増

COVID-19への対応

世界的な危機を乗り越えるべく、ステークホルダーのみなさまを全力でサポートしてまいります

お客さま



- SMBCの国内全支店・ATMの営業を継続
- オンラインサービスの充実
(4月のSMBCダイレクト取引者数：前年比+36%増)
- 緊急の資金需要への対応

個人

- 特別金利や当初1年間無利息等でのローン提供
(SMBC、SMBCCF、SMCC)

法人

- 日銀による特別オペレーションを活用した支援ファンド
- 信用保証協会保証や自治体制度を活用した融資
- 新規借入・条件変更等への柔軟な対応
 - ビジネスセレクトローンの取扱手数料免除
 - 審査プロセスや条件変更の柔軟化
- 医療系ベンチャー等をサポートする投資ファンドの立ち上げ

従業員



- 雇用・給与の維持
- テレワーク・スプリット運営の推進
 - SMBC本部人員の約70%がテレワーク実施
- 特別有給休暇の付与
- 支店・オフィスの感染予防の徹底
- 問診メールによる健康状態の把握
- メンタルケア相談窓口設置

地域・社会



- 医療、教育・福祉、文化芸術活動を支援
(寄付総額15億円)
 - 京都大学iPS細胞研究所 (5億円)
 - 日本ユニセフ協会 (1億円)
 - 公益社団法人日本オーケストラ連盟 (1億円)
- SMBC at Homeプロジェクト
 - ネットバンキングの取引に応じた寄付

